

地域生活実現プロジェクト

川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会

委員長 田中恵美子

【なぜプロジェクトが必要なのか】

障害福祉計画の作成は 2006 年から始まり、次期で 7 期となる。本計画は、どんな重度の障害のある人でも住み慣れた地域で暮らし続けるために必要とする障害福祉サービスを確保すること、またそのサービスを適切に使うということを目的としているが、実際には今日まで施設入所希望者の数は減少せず、むしろ年々増えているという。

このような状況を改善し、障害があろうとも川口市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするためにはどうしたらよいのか、実態に即した実践を試行し、そこから必要なサービス量を見積ること、次の計画を川口市の現実的に即したものにしていけることが求められている。

【次の計画までに実施すべき内容】

1. 実態の把握

- ①施設入所待機者
- ②ショートステイのロング利用者
- ③虐待や DV の被害者

上記に該当する障害者の実態を把握し、生活の継続を困難にさせている要因を具体的に把握する。

- 2. 1. の中で緊急性や在宅生活の困難性に応じて優先順位の高い者から選択して地域での暮らしを実際に試行する→個々に応じて住居の確保や必要なサービスの見積りなどを行い、実際に地域での生活を試行する。

- 3. 試行によって実際にかかったサービス量等を見積り、次の計画に活かす(第 8 期)

○地域生活プロジェクト【入所施設待機者の在宅生活におけるサービス利用(案)】

令和8年3月現在

	性	年	障害状況	手帳	区分	ADL	現況	現況サービス	介護者	特筆すべき事案	サービス（案）	居宅	GH	生介	短期	移動
1	男	50代	知的	A	6	全介	短期入所	短期入所31・移動支援40・生介	－	自傷・無外	重訪/生活介護/短期入所	289		○	14	
2	男	50代	知的・精神	B・2	5	一部介	GH	GH・生介	－	触法	GH/移動支援40/生活介護		●	○		40
3	女	50代	知的	A	5	一部介	GH	GH・生介	－	拒否・不潔行為	入所決定					
4	男	50代	知的	A	5	一部介	入院中	－	－	長期入院中	重訪/生活介護	583		○		